

Q.

イタリア館ってなんですか？

A.

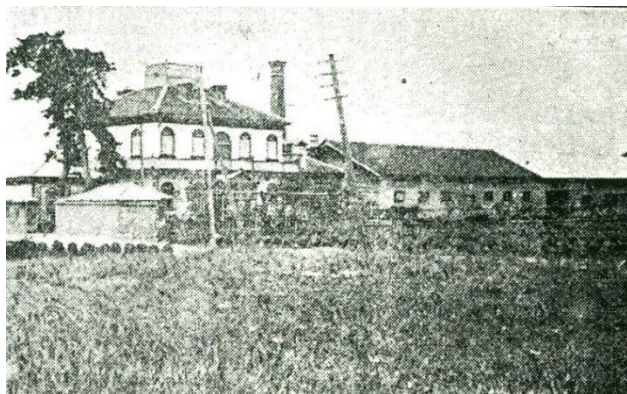
かつて油川地区にあった洋館で地域のシンボリック建物ではありましたが、近年解体されました。場所は篠田 2 丁目の上古川交差点から国道 280 号沿いに油川方向に向かい、市兵衛川を越えて右手、現在はドラッグストアとなっています。

通称イタリア館、フランコ・イタリアン缶詰会社の工場・事務所兼住宅がそこにありました。工場は 100 年ほど前の大正 6 年（1917）までに仮工場で操業を始め、翌年 3 月 31 日に新しい工場の落成式が執り行われています。当初この工場で作られた缶詰はもっぱら外国へ輸出され、国内販売はありませんでした。しかし、大正 7 年 11 月頃から大野村の野崎洋物店での販売が始まりました。

なお、工場を任されたのはローマ生まれで大正 2 年に来日したジュゼッペ・ファブリという人物です。しかし残念なことに、ファブリは新しい工場が完成してわずか 3 か月余りの 7 月に亡くなりました。

ファブリのお墓は油川の明誓寺にあります。

ちなみに、彼の亡くなった日は 7 月 2 日と 7 月 4 日の 2 説があります。



（大正 8 年『油川町誌』よりフランコ・イタリアン缶詰会社）

〈参考文献〉

工藤大輔「ファブリとイタリア館」（令和 2 年 5 月 25 日付『毎日新聞青森版』「青森県史の玉手箱」5）